

総務産業建設委員会

農業委員会と意見交換会



11月24日、総務産業建設委員会は、町農業委員会と意見交換会を行いました。農業委員会からは、不耕作地対策、高齢化、農地以外への転用が困難な農業振興地域の実情など、町の農業が抱えている課題について説明がありました。その後、町の農業振興に向けて、お互いに意見を交わしました。今後の農業振興策に向け、大変参考になりました。

「みずほ まちなか会議」

議員との対話集会

を開催しました

11月25日に町議会厚生文教委員会で、「子育て支援」をテーマにし、「みずほ まちなか会議」を町民会館で開催しました。今回は、参加者の方を含めてワークショップを行うといった初めての試みでした。

平日の夜にもかかわらず、参加していただいた皆様、ありがとうございました。次回も多くのご参加をお待ちしています。
(総務産業建設委員会担当のまちなか会議の報告は、次号【211号】に掲載予定)



要支援者に寄り添い困難を解決

～コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の機能促進事業について～

泉大津市では福祉施策の狭間でサービスに届かず、困難を抱えている高齢者やひきこもりなどを支援するためコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置していた。CSWは要支援者を家庭訪問し、丁寧に話を聞いて信頼関係を構築し、必要なサービスに繋げたり同行したりして解決に繋げていた。

要支援者に継続的に寄り添い解決につなげていくCSWは大変有用であると考えられる。わが町でも検討すべきと提言した。



寸劇で分かりやすく説明してくれたCSWの方々

大阪府泉大津市

大阪府熊取町



熊取町では縦割り行政を無くし、妊娠前から切れ目なくサポートできる「子育て支援課」を設置。専門職員を配置した3つのグループと教育部とが連携し支援強化に取り組んでいた。住民協働では、NPOや住民参画による子どもの居場所づくり、学童保育などが行われていた。また、家庭訪問による悩みの傾聴や家事・育児のお手伝いなどをするホームスタート事業も実施していた。わが町でも住民協働での子育て支援が展開できるよう提言した。

まちじゅうが子育て応援団
協働による子育て支援について

子ども達が自主的に取り組む

～子どもたちがつくるスマホ・携帯利用のルールづくりの取り組みについて～

神戸市灘区では、モラル教室の実施など意識の醸成を図ると共に、学校や関係団体が協議して、子供たちが主体的にルール作りできるようサポートし、中学生自らが考えた「スマホ・携帯利用のルール」の策定を実現させた。校長先生が「子どもたちに、やればできるという自信といじめは許さないとの自覚ができた」と語ったとおり、大切な事だと感じた。わが町の「ストップ22」を更に進めるためにも、こうした子どもの自立を促す取り組みをしていくべきと考える。



展示されている作品（生徒作成）の説明を受けている様子

神戸市立上野中学校

厚生文教委員会

10月19日～21日

委員会視察報告

◎委員長 下野 義子
◎副委員長 村上 嘉男
高水 大坪 国広 小山 典男
村山 正利 吉野 一夫
永雄（議長）

齋藤 成成
成宏